

ICLの素材とデザインにおける有効性

DATE

2024年6月28日 (金曜)
12:30 - 13:30 / 60分

VENUE

第3会場
福岡国際会議場 5階(502+503)

座長



清水 公也 先生

山王病院アイセンター
国際医療福祉大学

市川 一夫 先生

中京眼科

STAAR社のアイシーエルKS-AquaPORT®(=EVO ICL)は、旧モデルのNon-Holeレンズの頃から数えると、すでに市場に登場してから25年以上が経過しており、その使用枚数は全世界で300万枚を超えている。この長い年月の間に多くの他社製のPhakic IOLが登場し、その多くが市場から姿を消したのに対し、EVO ICLはPhakic IOLを代表する製品として存在し続けている。なぜEVO ICLが長い年月にわたって使われ続けているのか?その理由を改めて掘り下げてみたい。

まず、市川慶先生には、素材(=Collamer)について自施設で行った最新の比較研究をご紹介頂く。次に、川守田先生にはHole付きレンズ開発の過程も踏まえたレンズデザインの有効性について、光学や房水動態の観点から解説して頂く。最後に北澤先生からはPhakic IOLの歴史や自身の経験も踏まえて、EVO ICLが使われ続ける理由を考察して頂く。

EVO ICLの有効性を深く理解した上で、EVO ICLを含めたPhakic IOL製品について私達が今後どんなポイントで評価していけば良いのかを学ぶ機会となれば幸いである。

演者



北澤 世志博 先生

アイクリニック東京

Phakic IOLの歴史における
EVO ICLの価値

川守田 拓志 先生

北里大学 医療衛生学部 視覚機能療法学専攻

EVO ICLのデザイン
および光学特性

市川 慶 先生

中京眼科

Collamer 素材の研究報告

本会ランチョンセミナーは整理券制となります。

■配布日時

6月28日(金)8:00~11:30(※無くなり次第、終了)

■配布場所：福岡国際会議場 1階 エントランスホール

- ※飲食数には限りがございますので、予めご了承ください。
- ※会場には整理券をお持ちの方から優先的にご入場いただけます。
- ※整理券は、セミナー開始と同時に無効となります。

販売名：アイシーエルKS-AquaPORT 医療機器製造販売承認番号：22600BZX00085000



staar.co.jp